



レブラス ギア[®]

エアー粒剤 散布マニュアル



多年生雑草に強い!
「アルデア」増量配合*

※アルデアはメタゾスルフロンの愛称です。*当社一発剤比
®は登録商標

あのレブラスが、除草力のギアを上げた！ ドローンで撒ける「レブラスギア エアー粒剤」

葉齢の進んだ雑草への効果を追求した「ギア」が誕生。

配合した除草成分同士の“相性の良さ”で、より大きな雑草も枯らせるようになりました！

農林水産省登録：第24930号

有効成分：シクロピリモレート・・・5.0%

テフリルトリオン・・・8.3%

メタゾスルフロン・・・4.0%

容 量：900g入(30アール分)

水稲用 中後期除草剤

レブラス ギア[®]

エアー粒剤



あのレブラスがさらにパワーアップ！新しい水稲用中後期除草剤、登場！

■ **難防除雑草により強く！枯らせる大きさがアップしました。**

・ホタルイは花茎20cmまで！・クログワイは草丈50cmまで！・オモダカは矢尻葉4葉期まで！

■ **アルテアを最大量配合しています。(12g a.i./10a)**

■ **テフリルトリオンと、サイラ[®](有効成分:シクロピリモレート)を配合した、3種混合の水稲用・中後期除草剤です。**

AVH-301



多年生雑草に強い！
「アルテア」増量配合*

ドローンによる散布法

● 圃場周辺への飛散防止と薬剤を十分拡散させるために、以下の条件を守って散布してください。

〈散布条件〉

飛行高度：2～3m
風速：3m/秒以下
畦畔からの距離：10m以上
水深：5cm以上

〈散布幅〉

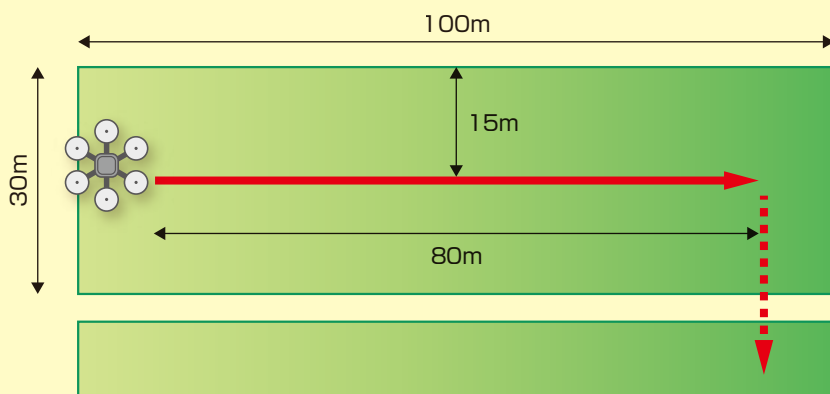
30m以下※
(片側15mまで拡散します)

※藻、浮草、表層剥離が発生している場合は適宜、散布幅を狭めてください。

● 推奨散布方法

機 体	散布装置	飛行速度	インペラ 回転数	開度 (ボリューム)	吐出時間 秒/10a	散布距離 m/10a	散布幅	30×100m圃場 の飛行ルート
AGRAS T10 AGRAS T25 AGRAS T30	GS110(T) GS440(T)	15km/時	600 rpm	18.0%	6.4	26.7	30m以下 (片側15m以下)	圃場中央 片道1回(80m)
MG-1 MG-1K T-20 T-20K	GS110 GS110K GS220 GS220K			36.5%	19.2	80		圃場中央 1.5往復(240m)
AC101connect AC102	AC101 P13		遅	56%	12.8	53.3		圃場中央 1往復(160m)
YMR-08 YMR-II	GR1-10 ひし形ローラー		固定	77	19.2	80		圃場中央 1.5往復(240m)

● 飛行ルートの例 例)30aの圃場(30×100m)を中央片道散布する場合



薬剤は15mまで拡散しますので、幅30mの圃場であれば中央片道散布が可能です。1往復以上の飛行で散布する場合は中央散布以外でも問題はありませんので、隣接田を続けて散布する場合などは適宜散布幅を調整してご使用ください。

● 散布距離と飛行速度から吐出量を調整する場合

① 吐出量を決める

1分当たり、何gの薬剤を吐出させるかを以下の手順で求めます。

$$\text{吐出量 (g/分)} = \frac{\text{処理量 (g)}}{\text{散布距離 (m)}} \times \text{飛行速度 (m/分)}^{\#}$$

#10、15、20km/時=167、250、333m/分

例) 40a圃場(40×100m)を15km/時で散布する場合

1往復	吐出量=1,200g÷160m×250m/分=1,875g/分
1.5往復	吐出量=1,200g÷240m×250m/分=1,250g/分
2往復	吐出量=1,200g÷320m×250m/分=937g/分
2.5往復	吐出量=1,200g÷400m×250m/分=750g/分

② シャッター開度を調整する

①で決めた吐出量に合わせたシャッター開度に調整します。各散布装置の吐出量目安表を参考に調整してください。なお、往復回数は少ない方が効率的ですが、各散布装置には

吐出量の上限があるので、吐出目安表に希望する吐出量がなければ、往復回数を増やすことで吐出量を減らして開度を決めてください。

吐出量目安表と散布例 ※「目安表」ですので、必ず試し撒きを行った上で、調整してください。

機 体 ; ■ AGRAS T10, T25, T30
 散布装置 ; ■ GS110(T), GS440(T) (DJI)

最大積載量 ● GS110(T) : 1.6ha分

開度	吐出量g/分	面積換算a/分	開度	吐出量g/分	面積換算a/分
12.5%	1,098	36.6	18.0%	2,803	93.4
13.0%	1,245	41.5	18.5%	2,967	98.9
13.5%	1,393	46.4	19.0%	3,134	104.5
14.0%	1,544	51.5	19.5%	3,301	110.0
14.5%	1,695	56.5	20.0%	3,471	115.7
15.0%	1,849	61.6	20.5%	3,642	121.4
15.5%	2,004	66.8	21.0%	3,814	127.1
16.0%	2,160	72.0	21.5%	3,989	133.0
16.5%	2,319	77.3	22.0%	4,164	138.8
17.0%	2,478	82.6	22.5%	4,342	144.7
17.5%	2,640	88.0	23.0%	4,521	150.7

散布例

40×100m圃場を
 15km/時、1往復で散布
 (散布距離:80m×2=160m)

↓
 吐出量=1,875g/分

↓
 開度=15.0%
 (1,849g/分)

※投下しすぎないように、希望の吐出量
 以下になるように設定してください。

※インペラ回転数を600rpmに設定した場合

機 体 ; ■ MG-1, MG-1K, T20, T20K
 散布装置 ; ■ GS110, GS220 (DJI)
 ■ GS110K, GS220K (クボタ)

最大積載量 ● GS110 : 1.6ha分

最大積載量 ● GS110K : 1.6ha分

開度	吐出量g/分	面積換算a/分	開度	吐出量g/分	面積換算a/分
24.0%	493	16.4	35.0%	869	29.0
25.0%	525	17.5	36.0%	905	30.2
26.0%	558	18.6	37.0%	942	31.4
27.0%	591	19.7	38.0%	979	32.6
28.0%	624	20.8	39.0%	1,017	33.9
29.0%	658	21.9	40.0%	1,054	35.1
30.0%	692	23.1	41.0%	1,093	36.4
31.0%	727	24.2	42.0%	1,131	37.7
32.0%	762	25.4	43.0%	1,170	39.0
33.0%	797	26.6	44.0%	1,209	40.3
34.0%	833	27.8	45.0%	1,249	41.6

散布例

40×100m圃場を
 15km/時、2往復で散布
 (散布距離:80m×4=320m)

↓
 吐出量=937g/分

↓
 開度=36.5%
 (924g/分)

※投下しすぎないように、希望の吐出量
 以下になるように設定してください。

※インペラ回転数を600rpmに設定した場合

注)45%を超えると吐出量は頭打ちになりますので、45%迄での使用をお願いします。

(P3の手順で吐出量を決め、それに合うシャッター開度を決めるのにご使用ください。)

機 体 ; ■ AC101connect, AC102(NTTイードローン)
 散布装置 ; ■ AC101 P13(NTTイードローン)

最大積載量 ● AC101 : 1.8ha分

開度	吐出量g/分	面積換算a/分
30%	705	23.5
35%	815	27.2
40%	936	31.2
45%	1,067	35.6
50%	1,209	40.3
55%	1,361	45.4
60%	1,524	50.8
65%	1,697	56.6
70%	1,881	62.7
75%	2,076	69.2
80%	2,281	76.0

開度	吐出量g/分	面積換算a/分
85%	2,496	83.2
90%	2,723	90.8

散布例

40×100m圃場を
15km/時、1往復で散布
(散布距離:80m×2=160m)



吐出量=1,875g/分



開度=69%
(1,844g/分)

※投下しすぎないように、希望の吐出量
以下になるように設定してください。

※インペラ回転数を「遅」に設定した場合

機 体 ; ■ YMR-08, YMR-II
 散布装置 ; ■ GR1-10 (ヤマハ)

最大積載量 1.3ha分

□ ひし形ローラー : オプション

ボリューム	吐出量g/分	面積換算a/分
20	501	16.7
25	540	18.0
30	579	19.3
35	618	20.6
40	657	21.9
45	696	23.2
50	734	24.5
55	772	25.7
60	810	27.0
65	848	28.3

ボリューム	吐出量g/分	面積換算a/分
70	885	29.5
75	922	30.7
80	959	32.0
85	996	33.2
90	1,032	34.4

散布例

40×100m圃場を
15km/時、2往復で散布
(散布距離:80m×4=320m)



吐出量=937g/分



ボリューム=77
(937g/分)

※投下しすぎないように、希望の吐出量
以下になるように設定してください。

※インペラを装着していない状態で測定した場合

エアー粒剤 散布事例

ドローン散布には、「**エアー粒剤**」がおすすめ！
その省力性は、オペレーター様からも認められています。

2019年 鹿児島県農業開発総合センター大隅支場 鹿児島県伊佐市
耕種概要：6/17 移植
6/19 マーシェットジャンボ処理
7/11 アルテア中後期エアー粒剤、1キロ粒剤処理
8/1 調査
圃場規模：エアー粒剤…28a(29×98m)
1キロ粒剤…31a(31×98m)
機種：MG-1K
設定/作業時間：右表
処理時雑草：発生なし
効果：両剤ともに雑草なし

オペレーター様のご感想

1キロ粒剤と比べて往復回数が少なく、
散布幅を気にする必要もないので
作業が楽だった。

	エアー粒剤	1キロ粒剤
飛行高度(m)	2	2
飛行速度(km/時)	10	15
シャッター開度(%)	35	20
インペラ回転数(rpm)	600	1,200
モード	M	M+
散布方法(往復回数)	1	3
作業時間 [*] (分/圃場)	2.89	5.51
作業時間 [*] (分/ha)	10.3	17.8
作業人数(人)	2	2

※薬剤投入などの準備作業含む

■ レプラスギア エアー粒剤の適用雑草と使用方法

† 本剤及び、それぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数 [†]	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 マツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ、セリ オモダカ、クログワイ	移植後14日～ ノビエ4葉期 ただし、 収穫60日前まで	300g /10a	本剤……………1回 シクロピリモレート剤 ……2回以内 テフリトリオン剤 ……2回以内 メタゾスルフロン剤 ……2回以内	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機 による散布

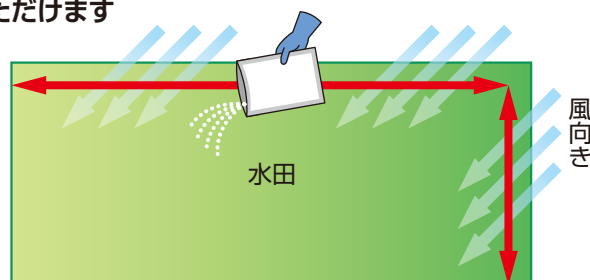
■ 各種雑草の散布適期

雑草名	散布適期
ノビエ	4葉期まで
コナギ	心形葉2葉期まで
ホタルイ	花茎20cmまで
ウリカワ	5葉期まで
ミズガヤツリ	草丈20cmまで
ヘラオモダカ	3葉期まで
ヒルムシロ	発生盛期まで
セリ	再生期まで
オモダカ	矢尻葉4葉期まで
クログワイ	草丈50cmまで

■ 湛水周縁散布でもご使用いただけます

風上側の畦畔2辺に撒くだけで、
除草ができます(周縁散布)。

※藻類・ウキクサ等のある場所への
散布は避けてください。



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2025年4月現在の登録内容に基づいています。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)

RBG-APR1A